【兵庫県 豊岡市】

総事業費 交付金額

516 千円

688 千円

地域の実情と課題

- ・出産などをきっかけとする離職などによって市内の男女の収入格差が大きい。 ・女性の経済的自立も視野に入れて、女性の
- ・女性の経済的自立も視野に入れて、女性の 起業支援などを市内の関係団体等と連携しな がら効果的に取り組む必要がある。

目的•目標

・子育て中など時間的な制約があって就労を あきらめていた女性などを起業セミナーなど で掘り起こし、地域内の女性起業家の育成と 伴走型支援などにつなげる。年間6名の女性 起業家の育成を目標。

事業の特徴

事業番号

・子育て中などの女性を対象に、起業セミナーを開催し、起業意欲のある女性の掘り起こしを進めるとともに、庁内の経済部門の市独自の起業支援制度「IPPO TOYOOKA」との協働により、起業相談などで育成に取組む。・商工団体等と連携し伴走型支援も進める。

事業の効果

- ・R5年度は6名の女性起業家の育成を目指し、実績としては11名の女性起業家が誕生した。
- ・起業の内容は、飲食店4人、食品販売2人、 宿泊施設1人、デザイン2人、コンサルティ ング1人、士業1人。

連携団体

・豊岡市環境経済課(IPPO TOYOOKA)、 厚労省兵庫労働局(ハローワーク豊岡含む) 豊岡市ワークイノベーション推進会議(市内 111事業所)、豊岡商工会議所、豊岡市商工 会がそれぞれの強みを活かしながら連携して 取組みを進める。

今後の課題

- ・子育て中などの女性の中でいかに「起業」に関心を持ち意欲のある方を掘り起こし、起業支援と伴走型支援につなげていくかが課題。
- ・女性起業家同士のビジネス連携などのマッチングを進めることや、効果的な緩やかな ネットワークを創ることも必要。

事業の概要

・2022年、JR豊岡駅前の大型商業施設ビル内にオープンした「子育て支援の総合拠点施設」の中にある「みらい応援Room」や「学習室」を会場に、一時保育室などを活用しながら女性のキャリア支援をはじめ就労支援や起業支援などに取り組んでいる。

・子育て中などの女性を対象に、市役所内の経済部門などと連携しながら、起業セミナー(年に1回開催・120分)や個別の起業相談(毎月1日・120分×2枠開設)を実施し、女性の経済的自立を視野に入れながら、女性起業の育成と伴走型支援に取り組んでいる。







個別の起業相談(毎月1回開催。120分×2コマ)